

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部

令和五年三月度 入賞句一覧

投句数 千六百七十七句

奥の細道  
むすびの地



特選

説田 祐子 選

進学を祝う校庭桜の木

加茂郡川辺町

福井 心満（中三）

作者は中学三年生。中学校生活もあと少しになったのですね。年度末には、誰もが新年度への期待や不安等を感じておられますが、中三ともなるとその想いをより強く感じられていたでしょう。そんな中で「校庭の桜の木」が目にとまり、自分の進学と重ね合わせ、進学を祝うととらえたところが素晴らしいです。新学年への期待と希望が伝わってくる一句です。

思い出を詰めてせおって卒業す

大垣市

前川 政季（中一）

この句の作者は小学校六年生。六年間の小学校生活を終えて、中学校への進学が待っているわけですね。その気持ちを「思い出を詰めてせおって卒業す」と表現できたとところが素晴らしいです。中学校進学後も小学校での思い出が支えになることでしょう。

入学式自分の道の段上がる

加茂郡川辺町

山岡 恒心（中三）

中学二年生の作者は、四月には三年生に進級するわけですね。その、自動的ともいえる進級のことを「自分の道の段」と捉え、自分で上がると言い切っているところがいいです。気持ちの強さが伝わってきます。きつとすばらしい三年生になられることでしょう。

秀逸

陽炎が別れの涙包み込む

加茂郡川辺町

丹羽 涼香（中三）

梅の木が春の訪れともして

加茂郡川辺町

加藤 葵衣（中三）

ウグイスの声聞きたびにがんばれる

大垣市

ませ るる（小四）

まう曇夕日の横でとけてゆく

大垣市

田中 咲希（小五）

舞い落ちる桜の花びら川そまる

大垣市

木下 明里紗（小六）

六年生卒業おめでとありがとう

大垣市

安藤 煌健（小六）

ただいまとひな人形に声かける

大垣市

宮川 夕奈（小六）

胸張って卒業できる小学校

大垣市

吉川 宗李（中一）

梅の花一つ二つとさいていく

大垣市

坂 実久里（小四）

入学に向かって一歩空の下

加茂郡川辺町

神田 ひなの（高二）

入選

小中学生の部

桜道一步一步かみしめる

加茂郡川辺町

大東 由依(高二)

春風がカーテンゆらし遊んでる

加茂郡川辺町

樋口 翔太(高一)

上流の輝く水面春がすみ

加茂郡川辺町

西垣 陽翔(中三)

桜散りピンクの絨毯歩いてく

加茂郡川辺町

村瀬 早紀(中三)

はるちかしあたたかいかぜふいてくる

大垣市

入山 ほのか(小四)

春の川まわりにさくらおちていく

大垣市

坂尻 まな(小四)

ウグイスがはるのはじめをおしえるよ

大垣市

樋口 愉晏(小四)

おさいせん健康願う初もうで

大垣市

林 泰地(小五)

何日か毎日かぞえ春を待つ

大垣市

富田 梨央(小五)

水仙が風にふかれて踊ってる

大垣市

南瀬 杏奈(小五)

ひなまつりにんぎょうのせおかしのせ

大垣市

清水 寧音(小五)

春の風少しやさしくなっている

大垣市

川瀬 結愛(中一)

桜散る入学式の校舎前

大垣市

大橋 心麦(小五)

まちじゅうがピンクに染まる桜の木

大垣市

遠藤 心夢(中一)

新学期気もちきりかえさあいくぞ

大垣市

紙本 紗希(小五)

新学期ワクワクするねクラスがえ

大垣市

中村 花連(小五)

春の風私をつつむやさしいな

大垣市

細野 蘭心(小六)

つくしさん風といっしょにおどってる

大垣市

しの田 とらじろう(小二)

つばめがねはねをひろげてかけっこだ

大垣市

うすい せな(小三)

つばめさんいつもどっからきているの

大垣市

まつ口 ひ南(小三)

選者吟

つるし雛千支のうさぎも仲間入り

祐子

